

極楽寺だより

長門市三隅下野波瀬
電話 0837(43)0625



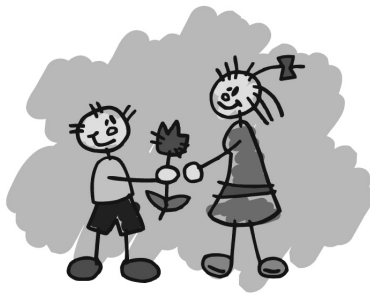
盆法会のご案内

暑中お見舞い申し上げます。きびしい暑さが続きますが、お元気で過ごしましょうか。お浄土の人となられた方々をしのび、如来さまのご恩を味わいながら、次のとおり盆法会を勤めます。どうぞお参り下さい。

八月十四日(月) 午後二時

十五日(火) 午後二時

十六日(水) 朝九時



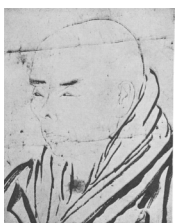
魚供養、魚法会は、特に志を供えられた

漁業者だけの法要ではありません。仙崎の鯨法会のように

に、どなたでも、また多くの方がともに仏法を聞くことが

大切なのです。たくさんのお参りをお待ちしております。

三隅 親鸞聖人鑽仰会 法会御案内



昨年極楽寺が引き受けでありました三隅親鸞聖人鑽仰会法会。今年度第四十三回は、兔渡谷 常楽寺にて勤修されます。どうぞ、お誘い合わせ御参詣下さい。

記

一、日時 九月五日(火) 午後一時半

六日(水) 午後一時半

一、会所 兔渡谷 常楽寺

一、講師 兵庫県 宍粟郡 山崎町

西願寺住職 佐々木 大観 先生

ご希望の方は、送り迎えをいたしますので、極楽寺までお申し出下さい。

以上

お知らせとお願い

6月24日に開かれました総代・世話人
 会議にて、宗祖750回大遠忌、当山第23

世住職継職法要の事業計画についての
 概要が、以下の通り決定いたしました。

◆ 平成21年5月 記念法要厳修

◆ 記念事業 本堂内陣仏具修理

たたみ・金ふすま修理
 駐車場整備 その他

◆ 本山大遠忌法要 懇志進納

◆ 山口別院20周年記念事業協賛金進納

大変厳しい折のお願いで恐縮ではご
 ざいますが、ご懇念の程、何卒よろしくお

願いたします。

親鸞聖人750回大遠忌法要
 極楽寺第23世住職継職法要

2009(平成21)年 厳修予定



「世の中安穩なれ」 其住職

親鸞聖人の七五〇回大遠忌法要が五年後に迫り、本山から「安穩」というポスターが送られてきました。極楽寺の本堂に張ってあります。これは「世の中安穩なれ」という聖人のお手紙の一節の言葉で、大遠忌法要のスローガンです。聖人の願いを、しっかりと噛みしめていきましょうという、うながしでもあります。

以前、映画監督の森達也さんという方から、こんな話を聞きました。仕事で、モンゴルに行ったときのこと。モンゴルというと、雄大な大草原というイメージがします。実際そうなのですが、ウランバートルというモンゴルの首都は少し様子が違います。とにかく人が多い！特に市場に行くと、大変な人ごみ。都市部が少なく、あとは草原です。人がひとつところに集まってしまうからだそうです。

さて、森さんは、ウランバートル滞在中のガイドさんを紹介され、ハツとしました。その方、若い女性で森さんの初恋の人にそっくり。他人の空似とはいえ、ドキドキしたそうです。

そのガイドさんに、案内され、市場を歩いているときのこと。人ごみの中を掻き分けながら歩いていると、ガイドさんが突然振り向いて、森さんの両手を握りじっと目をみつめてきたそうです。森さんは初恋の人によく似た女性から、急に両手を握られ、じっと目を見つめられたものですか、ドキドキ。そのとき彼女は何と言ったのかという

2005(平成17)年度極楽寺門徒会収支決算書

平成17年4月1日～平成18年3月31日

	費目	金額(円)	摘要	
収入	門徒会会費	765,000	延255戸×3,000円(野波瀬120/在方114/町外延21)	
	本山教化助成金	30,000	永代経志進納によるもの	
	貯金利息	302	特別会計分297円・通常会計分5円	
	前年度繰越金	4,221,411	修復基金特別会計	3,808,401
			通常会計	413,010
合計	5,016,713			
支出	負担金	473,800	本山賦課金	151,060
			本山門徒講金	152,000
			山口教区費	136,140
			大津東組組費	34,600
	山口別院修復協賛金	654,000	17年10月20日進納	
	研修会費	6,000	大津東組総代研修会	4,000
			教区仏壯研修会	2,000
	火災保険料	147,450	本堂 6,500万円	掛金 111,250
			庫裏 3,800万円	掛金 36,200
	会議費	60,000	6/30 総代・世話人会議	
	慶弔費	61,500	中村義夫元世話人/松野喜子雄前総代 極楽寺前坊守 葬儀 供物料・供花代	
	本堂修理費	1,176,000	本堂屋根修理 17年7月25日支出 下り棟・破風・漆喰など	
合計	2,578,750			
差引残金	2,437,963	郵便局 漁協普通貯金(次年度繰越金)	2,200,823 237,140	

6月24日の総代・世話人会議にて、上記の通り収支決算が承認されました。

2006(平成18)年度の門徒会費は、前年通り3,000円です。

総代長:宮崎茂之 副総代長:藤田平二

会計:木村慎治 会計監査:(総代)野村昭一 (世話人)岡村秀穂

「これは習慣よ。」

どうやら森さんが、彼女の靴のかかとを踏みつけてしまったらしいのです。ウランバートルには人がたくさんいますから、うっかり誰かの足を踏みつけたり、ぶつかったりということがよくあります。そんなとき、モンゴル人は必ずすぐに手をとりあって、互いに詫びるのです。知り合いだろうと、知らない顔であろうと、とにかく手を取りあって。

なぜなら、遊牧民たちは日常的に使うため、ナイフを懐にしるのばせていることが多い。だから、些細な言い争いが、取り返しつかない結末にエスカレートすることを、彼ら彼女らは身をもって知っているわけです。すべてが終わってから、「ああ、とんでもないことをしてしまった」と後悔することを、何度も体験してきたのでしよう。

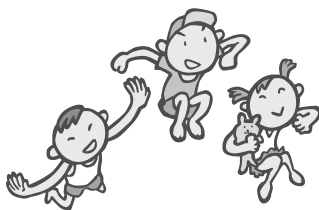
「人はそれほど賢くない。」

それを骨身に沁みて知っているからこそ、そんな習慣が定着したのでしよう。森さんが初恋の人に よく似た女性に手を握られたのは、決して愛情表現ではなかったのですね。

「人はそれほど賢くない。」そのことに親鸞聖人は、仏さまの智慧を通して気づいていかれました。相手をならず者と誇る自分が、気づかぬうちにならず者の行動を取ることさえある。取り返しのつかない結末へと、とめどもなく突き進むことさえあるのです。

どんな相手でも、まず手と手を取りあうことから始める。それが親鸞聖人の「世の中安穏なれ」

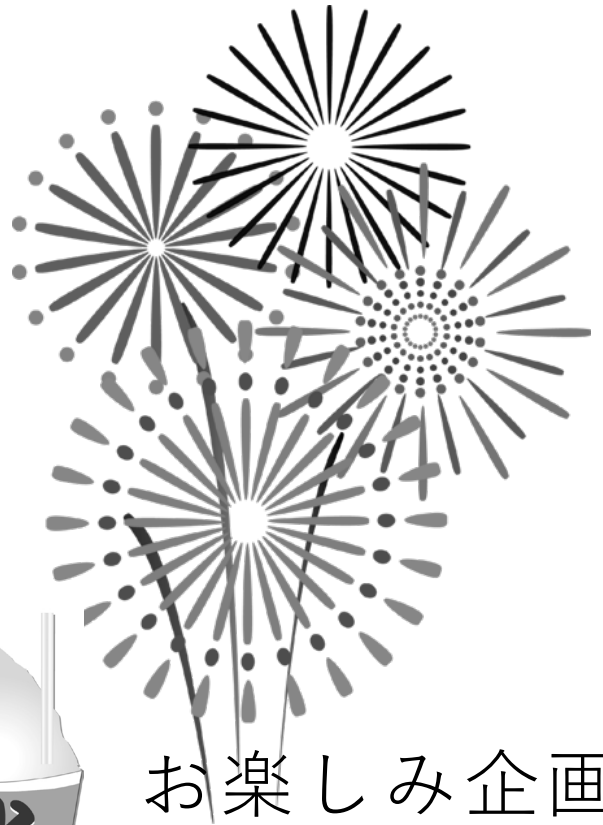
お寺の子ども会



8月のお寺の子ども会は、
夜の子ども会です！

8月19日(土)

夜7時30分から
9時前には終わります



お楽しみ企画
は、